

29年度 氷見市教育総合センターだより 第4報

ふるさと学習研修会 8月8日（火）開催 ひみラボ水族館・市立博物館の見学、「氷見の万葉」について

郷土(氷見)に対する理解を深めるとともに、教材としての活用方法を探るため、新規採用教員と転入教員、小学3・4年生担任等が、市内の主な施設を見学しながら説明を聞いたり、「氷見の万葉」について講義を受けたりしました。

<参加者の声>

- ・ひみラボ水族館ではおもにイタセンバラについて、市立博物館では、昔の氷見の様子や地域の産業について、また、万葉集についても学ぶことができ、自分の引き出しを増やすことができた。氷見に住んでいても、足を運ぶ機会がなかったので、どんどん活用していきたいと思った。
- ・高岡市に住んでおり、氷見市に勤務になったため、今回氷見について詳しく知る機会になった。氷見が誇る自然の偉大さや、歴史の深さを感じた。



仲間に学ぶ研修会 8月8日（火）開催

| | | | |
|-----------|---------------------------------------|-----------|-----------------------------------|
| 講師 | 氷見市立比美乃江小学校 氷見市立灘浦小学校 氷見市立西條中学校 | 教諭 | 越前 雄介 先生 飯山 真貴子 先生 小間 健郎 先生 |
|-----------|---------------------------------------|-----------|-----------------------------------|



20～30代の教員が先輩教員から学ぶ研修会を行いました。
越前先生からは「海外教育事情」、飯山先生からは「国語科指導（発問の在り方）」、小間先生からは「特別支援教育」について、内地留学等で学ばれた内容の一端を実践的な演習を交えながら話していただきました。

<参加者の声>

- ・越前先生の話から、普段、知ることができないフィンランドとデンマークの学校事情を知ることができた。ICTを上手に活用していることが伝わってきた。社会と教育の関係に対する考え方はとても心に残った。
- ・教育先進国と言われている国々も、日本も、差がないと感じた。ICTの有効活用等はまさに今、日本でも力を入れており、教育にどう生かしていくかが大切である。社会のために子供たちを育てたいと思った。
- ・飯山先生のお話を聞き、発問の大切さについて改めて考えさせられた。教材文を読み込み、主題は何かを考えることは授業をつくる上で重要である。子供たちが教材文と向き合えるような発問を考えていきたい。
- ・飯山先生のお話を自分の国語の授業を振り返りながら聞いていた。私も発問でつまづくことがよくある。今回、「お手紙」の教材研究を実際に行ってみたり、他の先生の考えを聞いたりして、とても勉強になった。
- ・小間先生のお話では、発達障害についての理解や対応を学ぶことができた。その子の個性を伸ばしたり、居場所を作ったりすることが大切だと思った。その子の「好き」に合わせた会話をしたり、クールダウンする場や、事前に知らせたらよいことを知らせたりすることは素晴らしい支援だと思った。
- ・小間先生の報告から、発達障害のある子供を特別扱いせず、自尊心を傷付けない対応をすることが必要だと分かった。発達障害のある子供が、どう感じているのかについて資料から実感することができ、困り感を理解することができた。

第2回 教育セミナー（兼 第2回学力向上研修会）

8月9日（水）開催

演題 互いに認め合い高め合う学級づくり

講師 高知大学 准教授 鹿嶋 真弓 先生



鹿嶋先生は、学級集団づくりにおいて『私はあなたの存在をそこに認めている』ということを通じての行為、言葉で伝える」承認が大切であると話され、「見る」「挨拶する」「名前を呼ぶ」「肯定的な思いを伝える」などが含まれると熱く語られました。そして、「みんなってすごい、自分もすごい」という「互いにすごいと思える」「互いに高め合う」関係づくりに生かすことができる、いろいろなアプローチ活動を、実際にペアやグループになって行いました。自己開示できる心地よさや仲間との一体感を味わう喜びを体感し、2学期へ向けて元気がでる研修会でした。

<参加者の声>

- ・自己肯定感が低い子供や友達とうまく交わることができない子供が多いという問題の解決には、日頃の学習活動の展開の工夫、何より、教師の魔法の言葉が効果的であると改めて感じる事ができた。
- ・プロフェッショナルを見て鹿嶋先生のことを知った時から、いつかお話を聞きたいと思っていた。これまで、グループエンカウンターを見よう見まねでして、上手くいくことが少なく、どうすればよいか考えていたが、今日の講演を聞いて「耕し」が足りないということが分かった。生徒との関係、生徒同士の関係を日頃からもっと耕すことが大事なのだと感じた。
- ・これまでの自分の声かけや生徒への接し方を振り返り、生徒の可能性を狭めることをたくさんしてきたのではないかと反省した。何より、鹿嶋先生の温かい眼差しと、生徒への愛情を強く感じた。「認める」こと、時にはヒントも出さず「じっと見守る」ことも大切なのだと感じた。私自身、できないことや分からないことがたくさんあるので、生徒と共に、失敗しながら成長していきたいと思った。



第1回 英語教育研修会

8月10日（木）開催

演題 小中学校の英語教育の目指す方向と小中連携

講師 関西外国語大学 教授 中嶋 洋一 先生



中嶋先生の講演は、「授業は人格形成というねらいをもって、心を育て、力を付けるものである」というテーマの下、参加者自身が様々な活動を通して「主体的・対話的で深い学び」を体験し、これまでの指導を見つめ直す機会となりました。特に、考える必然性が生まれる活動や学習指導要領の重要性を認識する作業では、サブタイトルの「“脳働”的な学習」を体感することができ、2学期からの授業に取り入れたいと述べる参加者が多く見られました。

<参加者の声>

- ・「言葉は場面でしか意味をもたない」とおっしゃったことがとてもよく理解できました。英語は言葉の学習であり、小学校の活動でも場面に応じて理解させていくことが必要なのだと改めて感じた。
- ・外国語の授業だけでなく、全ての教育活動に通じる根本的な講演であった。自己選択、自己決定をさせるような仕組みや、子供たちに何を育てたいのか具体的なゴールをもって授業に取り組むことの大切さを教えられた。育てたい姿に向かうために教科書をどう使うかこれから意識したい。
- ・Turn right.の単位では、ただ道案内をさせるのではなく、その場で考えさせる即興性が重要だと分かり、2学期の授業に取り入れたい。どのような力を付けたいのかゴールの姿を明確にもち単元計画を立てていきたい。



演題 「特別の教科 道徳」の授業づくりと評価

講師 京都産業大学 教授 柴原 弘志 先生

柴原先生は、道徳科の内容とは、「教師と児童生徒が人間としてのよりよい生き方を求めて、共に考え、共に語り合い、その実行に努めるための共通の課題である」と話され、児童生徒一人一人に豊かな「道徳性」を確かに育てていくことが求められていると熱く語られました。そのためには「主体的・対話的で深い学び」が極めて重要であることを、具体的な授業場面を取り上げながら力説されました。



また、評価についても、「学習状況に関する評価の観点」や通知表の記述例を示しながら分かりやすく説明されました。道徳の教科化に向けて、大いに励まされる講演会になりました。

<参加者の声>

- ・2学期からは、子供たちが本音で語り合えるような学級づくりをすることを意識していこうと思った。子供たちが自己を見つめ、道徳性の高まり、成長を実感できるように道徳の時間を積み重ねていかなければならないと思った。「教師も一緒に学ぶ姿勢で授業をすると、もっと深く、今まで考えられない部分での道徳の学習ができる」という言葉が印象的だった。
- ・「道徳性が育ったかどうかをどのように評価するのか」と思っていたが、今日の講演で見えてきたように思った。授業で大切にしたいことは、子供が主体的に考えたことをしっかりと受け止める教師であること、友達の考えを聴き、対話的学びが成立する学級集団を育てることだ。9月から授業改善していきたい。
- ・一つの観点を深めると様々な価値が生まれることが分かった。多面的な考えの他に多角的に考えることもできる。子供たちが道徳性を高めていくために道徳をしっかりと実践し、自分の心を耕していきたいと思った。

第2回 ICT活用研修会

8月3、24日 開催

演題 デジタル教材の作成と活用について

講師 富山大学 准教授 長谷川 春生 先生

8月3日には、南部中学校森谷教諭によるタブレットを使った模擬授業を通して、参加者がxSync（バイシンク）の機能の使い方を学びました。そして、長谷川先生の講演では、様々な事例を基に、ICTの有効活用について学ぶことができました。その後、参加者が6グループに分かれ、電子黒板とタブレットを活用する教材を作成しました。



8月24日には、それぞれのグループが10分間の模擬授業を行いました。どのグループの授業も、様々な工夫が凝らされており、xSync（バイシンク）を効果的に活用したものでした。本研修会で作成した教材と模擬授業の様子（動画）は、小中共通フォルダからご覧ください。

<参加者の声>

- ・タブレットを活用した模擬授業や講演から、授業のさらなる広がりを感じた。特に、子供たちの思考力・判断力・表現力を高めるために、有効な道具であると感じた。
- ・初めはタブレットを使うことに不安があった。しかし、2回の研修を受けて、様々な使い方ができることを実感することができた。子供たちの学びを深められるように活用していきたい。
- ・模擬授業では、教師役も子供役も両方行うことができたので、どのような場面で、どのように活用すれば効果的なのかを、授業目線で考えることができた。
- ・一人に1台のタブレットを使って授業ができることはすばらしいと思う。今回学んだことを、学校全体で共有していきたい。

新しいALTです。よろしくお願いいたします。



ボイド チング

Hello! My name is Boyd Ching. I am from Anchorage, Alaska. Do you know Alaska? It is right next to Canada and the north pole where Santa lives. There is a lot of nature and wild animals in Alaska and you will probably see moose multiple times in a month. Alaska is also the largest state in the United States. In Alaska it can be very cold. It can be as cold as -15°C to -45°C . But on the other hand, the summers in Alaska are very comfortable and does not become hotter than 25°C .

I graduated from University of Alaska in 2016 with a degree in Computer Science. My hobbies are developing web sites, studying languages, breakdancing and now cooking. I am not a good chef yet, but I really like the unique flavor that each cultural cuisine has. After I finish teaching in Himi I want to make educational web applications.

This is my third time in Japan. I studied abroad in Hakodate, Hokkaido. Himi is hotter than Hakodate but I like the sunny weather and the sea is beautiful. I want to spend my time in Himi exchanging culture, making new friends, and teaching English. I also want to try all of the food here. If you see me around, please say hello and lets be friends!

(アメリカ アラスカ州出身 趣味・・・ウェブアプリ構造、言語学習、ブレイクダンス、料理)



ジョセフ ギルバート

Hello! My name is Joseph Gilbert. I am from Austin, Texas in America. Austin is the capitol city of Texas, so it is quite large with many tall buildings. However, outside of Austin, there are many farms and ranches. Texas is famous for its hamburgers and barbeque. It is very hot there, because it is so far south. It can get as hot as 46°C !

At first, I was afraid to move to Himi because it is so much smaller than the city I grew up in, but after I arrived, I was amazed by how gorgeous it was. I am very excited to live in a place that is so beautiful. In my free time, I want to go out and draw pictures of the scenery here.

I graduated from Texas State University in 2017 with a degree in Music. Specifically, I studied voice (opera) and music composition. Also, I minored in Japanese. My hobbies are drawing pictures, playing music, and playing games. In 2015, I studied abroad for one month in Nagoya. I became very close with my host family, and had lots of fun speaking Japanese every day! It was then that I decided that I wanted to teach English in Japan. I want to help students have wonderful experiences with people from around the world, like I did!

If you see me in town, please say hello! I would love to meet you!

(アメリカ テキサス州出身 趣味・・・絵を描く、音楽をする、ゲームをする)



マーティーン アメンポア

Hello, everyone! My name is Matteen Aminpour. I am from Eau Claire, Wisconsin in America. Wisconsin is famous for beer and cheese. The Milwaukee Brewers baseball team is also from Wisconsin. Wisconsin is right next to Canada! In Wisconsin, we have very cold winters, and hot summers. The winters can get as cold as -40°C , but the summers can get as hot as 42°C ! Wisconsin is halfway between the North Pole (北極) and the equator (赤道), so we have all four seasons.

I graduated from the University of Minnesota in 2017 with a degree in Japanese and Asian literature. In my free time, I like to go snowboarding, travel, and play the drums. After my time in Himi, I want to go to school to become a lawyer.

This is my fourth time in Japan, I have been to 17 prefectures! I also studied for one year at Hiroshima University, so I really like Hiroshima-style Okonomiyaki. I was a member of the Hiroshima Daigaku sumo team! I came to Japan to learn more about the Japanese language and culture, and to share my American culture while also teaching English. I think Himi is a very beautiful town, and I love the view of the ocean. If you ever see me in Himi, please say hello! I look forward to meeting you!

(アメリカ ウィスコンシン州出身 趣味・・・スノーボード、旅行すること、ドラムをたたくこと、相撲)